

## CIRSE 2017 学会報告

久木山智子

2017年9月16日から5日間にわたりデンマーク・コペンハーゲンで開催された CIRSE (Cardiovascular and Interventional Radiological Society of Europe)に医局から田中先生、小金丸先生、久原先生、久木山の4人で参加しました。4人とも e-poster での発表でした。

今回の参加者はおよそ 6800 人だったようです。

田中先生

「Non-alcoholic direct puncture sclerotherapy for patients with venous malformation: discrepancy between patient-based and MRI-based evaluation」

小金丸先生

「Endovascular management of ruptured/ unruptured true pancreaticoduodenal arcade aneurysms caused by median arcuate ligament syndrome」

「Ultraselective embolization for small intestinal bleeding using a 1.7Fr catheter and soft bare platinum coil」

久原先生

「Transoral direct puncture sclerotherapy for oral and pharyngeal venous malformations」

久木山

「Prognostic factors of transarterial embolization for hemostasis after pancreaticoduodenectomy」

連日多くのセッションが行われていました。講演を聞いていて私にとって目新しいこともあれば、当科でも治療を行っている疾患もありました。同じ疾患に対するインターベンションでも使用するデバイスやアプローチの方法は異なっているものもあり、世界中で多くの Interventional Radiologist たちが日々、考え、技術を磨き、デバイスを使いこなす治療を行っているということを実感し、日常診療をこなすこと以外にも学会や文献などで知見を得て考えを広げることが必要だと感じました。



学会場。機器展示にもたくさんの人!

コペンハーゲン是比较的小さな街で、街並みはとても綺麗です。運河があり、ボートに乗って運河から街並みや水辺の風景を眺め観光しながらクルージングを楽しみました。また天気にも恵まれ、過ごしやすい気候でした。



ニューハウン。ここから乗船します。



ブラックダイヤモンドこと王立図書館

コペンハーゲンには **noma** というレストランがあります。世界ベストレストラン 50 で何度も世界一となり、それまで「食」のイメージがなかったデンマークへの観光客を増やし、国の経済までも動かしたと言われていています。私たちがコペンハーゲンに行った時には移転期間中ということで **noma under the bridge** という企画が行われていました。ぜひ行きたいと思っていたので何うことができて嬉しかったです。お店は本当に橋の下にありました。大皿に盛られて出てくる独創的な料理を周りのお客さんたちと取り分けながら、ワインと合わせて楽しみました。



大きなカリフラワー！

黒いのは蟻。蟻酸で酸味を出すそうです。

とても充実した 5 日間でした。

今回も演題登録やスライドの準備など多くの時間を割いてご指導してくださった IVR グループの先生方、私の準備が遅かったせいで時間がないにもかかわらず最後までご指導してくださった藤本先生に深く感謝しています。また、学会に参加させて下さった医局や同門の先生方にも心より感謝いたします。ありがとうございました。